

庭園間交流連携促進計画（周遊部門）



# みやぎ蔵王ハーモニー花回廊



令和3年10月

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会

## 取組の将来像（ビジョン）

### ガーデンツーリズム構築による広域圏での地域活性化

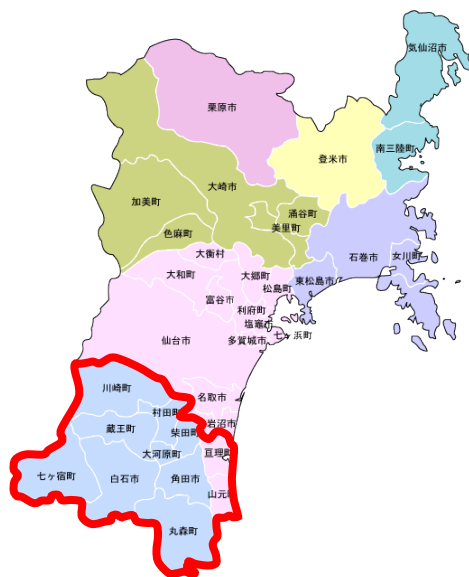
宮城県南地域は、蔵王連峰、白石川、阿武隈川から太平洋に至る山と海の2つの自然豊かな環境の多彩な観光資源があり、年間700万人近い観光客が訪れる地域となっていますが、東日本大震災、台風19号災害等の大規模な災害を経験し、観光分野においても多大な影響を受けました。震災・災害・復興の最中において、地域に点在するフラワーガーデン（花修景）は地域の人々に癒しと安らぎを与え、復興の原動力となりました。こうした地域に点在する集客力の高い花修景を大きな軸として、県南地域の自治体2市9町、民間団体及び大学が連携し、地域の観光資源を紡ぐことで、個々の花修景の魅力と観光資源の相乗効果により、みやぎ蔵王山麓に広がる花修景の認知度の向上と、交流人口・関係人口の拡大を図り、広域圏での地域活性化を図ります。

### 1. 宮城県南地域の観光の現状

宮城県南地域（以下、県南地域）は、100万人都市仙台市の南部に位置し、山形県・福島県、そして太平洋に囲まれた白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亘理町、山元町の2市9町で構成される地域です。

県南地域の西部に位置する蔵王連峰は、宮城県と山形県に跨る最大標高1,800mを超える山々からなる山岳地で、山頂には噴火跡のカルデラ湖である「御釜」は全国的にも知名度が高く、県南地域を象徴する観光資源となっております。

県南地域の象徴となっている蔵王山は国土交通省の観光資源データによれば、「蔵王山はその誘致力は全国的であり、観光重点地域の原動力として重要な役割を持つA級資源」と高く評価されています。



観光資源データ（平成22年度国土交通省）

ランク	観光資源の例	内容
特A級	富士山、出雲大社、法隆寺、十和田湖 等	わが国を代表する資源でかつ世界にも誇示しうるもの。わが国のイメージ構成の基調となりうるもの
A級	蔵王山、松島、瑞巖寺、清水寺、天橋立、中尊寺 等	特A級に準じ、その誘致力は全国的で観光重点地域の原動力として重要な役割をもつもの
B級	駒ヶ岳、仙台城跡、秋保大滝、志波彦神社、鹽竈神社、塩竈みなと祭、多賀城跡、五大堂、観瀾亭、金華山 等	地方スケールの誘致力をもち地方のイメージ構成の基調となりうるもの
C級	—	主として県民および周辺地域住民の観光利用に供するもの

資料：国土数値情報 観光資源データ 平成22年度 国土交通省  
 (財)日本交通公社が事務局として設置した「観光資源評価委員会」が検討・選定し作成した「観光資源台帳」((財)日本交通公社)に掲載されている観光資源のうち評価ランクがB級以上のものをデータ化したもの。  
 対象とする観光資源の種類  
 自然資源 山岳、高原、原野、湿原、湖沼、溪谷、滝、河川、海岸、碑、島、岩石・洞窟、動物、植物、自然現象  
 人文資源 史跡、社寺、城郭・城郭、庭園・公園、歴史景観、地域景観、年中行事、歴史的建築物、現代建造物、博物館・美術館

また、奥州街道、陸前浜街道、七ヶ宿街道、笹谷街道が通っていたことから、宿場町が多く存在し、古くから交通の要衝となっていました。そのため、国道4号や国道6号などの国道幹線が走り、また、東北新幹線、JR東北本線、JR常磐線、阿武隈急行線の鉄道網や、東北自動車道、山形自動車道、常磐道といった高速交通網も整備されています。さらに、国内主要都市や中国、韓国、台湾等の海外路線が就航している仙台空港にも隣接していることから、国内外からの交通の利便性は格段に恵まれた地域となっています。

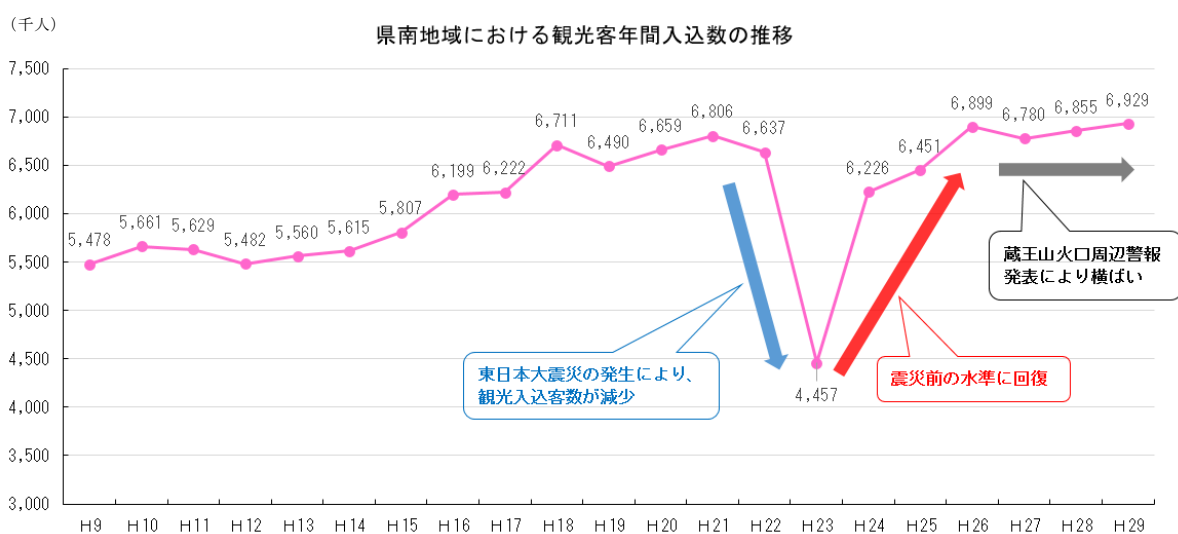
このように魅力的な観光資源と交通の利便性に恵まれている県南地域にもかかわらず、近年においては、観光客数が伸び悩んでいる状況となっております。

## 2. 東日本大震災や風評被害の影響

平成23年の東日本大震災と福島第一原子力発電所事故により甚大な被害を受けた東北地方においては、観光客数においても大きな影響を受けました。県南地域においても、震災前（H22）には、663.7万人あった観光客入込み数が震災直後（H23）においては、445.7万人までに減少しました。

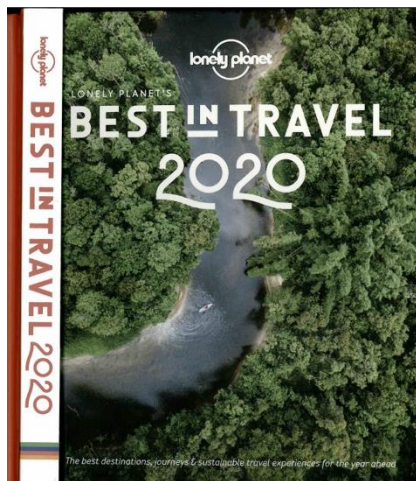
また、蔵王山においては、平成27年4月に火口周辺警報が発表されたことにより不安や風評が広がり、観光客が減少しました。

こうした状況の中、国が策定した「観光立国推進基本計画」（H24.3策定）に基づく国等の支援策を活用し観光資源の磨き上げや、プロモーション活動の強化等、様々な取り組みを行いました。また、宮城県が策定した「宮城県災害復興計画」（H23.10策定）や「第3期みやぎ観光戦略プラン」（H26.3策定）に基づき、東北が一体となった広域観光の推進によって、県全体の観光客入込数はようやく、震災前の水準まで回復することができました。



県南地域における観光客入込数の推移（観光統計概要・宮城県）

さらに、世界的に人気の高い旅行ガイドブック「Lonely Planet（ロンリープラネット）」が発表するお勧めの旅行先「Best in Travel 2020」において、日本の「東北」が2020年に訪れるべき世界の10地域の第3位に選出されました。この中で「東北」を、「豊かな自然、祭などの文化遺産、食の魅力、そして、おもてなしに溢れ、東京2020オリンピック・パラリンピックで訪日するアドベンチャー好きの旅行者にとって最適な新しい旅行地」と評しており、本県南地域の柴田町船岡城址公園は「桜が咲き誇る城山を下るスロープカー」として、写真付きで紹介されています。



TŌHOKU, JAPAN

‘Tōhoku hospitality is the best, and I love the outdoors, especially the coastal Kitayamazaki Cliffs and Ryūsendō Cave. Tōhoku really is the ideal blend of Japanese culture and nature.’

-Koichi Matsuda, lifelong Iwate resident

Population: 8.9 million  
Main town: Sendai  
Language: Japanese  
Unit of currency: Japanese yen  
How to get there: Tōhoku is linked to Tokyo by shinkansen (bullet train), which stops at hub cities Sendai, Morioka and Aomori. Sendai has the largest airport, serving mostly domestic flights.

**TELL ME MORE...**

The six prefectures of Tōhoku are defined by stunning natural features: mountain ranges, beech forests, volcanic peaks and caldera lakes make it a prime hiking, onsen-soaking and



© BULESKY STUDIO/SHUTTERSTOCK

「Lonely Planet’ s Best in Travel 2020」で紹介された柴田町船岡城址公園のスロープカー

しかし、県南地域だけを見ると、観光客数が増加している仙台圏に比べ、観光資源、交通の利便性に恵まれているにも関わらず、観光客数は伸び悩んだままになっているのが実情です。このような県南地域のなかにおいて、観光客数が震災前に比較して倍増しているのが柴田町です。

(単位：人)

市町	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	亘理町	山元町
震災前 H22年	750,611	207,816	1,471,325	533,956	543,709	438,066	280,238	891,852	554,702	916,718	48,618
H29年	788,461	225,025	1,674,469	495,701	429,527	492,650	516,284	1,020,091	553,837	688,042	45,761
増減率	105%	108%	114%	93%	79%	112%	184%	114%	100%	75%	94%

震災前(H22)と近年における観光客入込数の比較(観光統計概要・宮城県)

### 3. 「花のまち柴田」をテーマとしたフラワーツーリズムの推進

柴田町の船岡城址公園と大河原町から連なる白石川堤は、宮城県で唯一「日本のさくら名所百選の地」に選ばれている桜の名所であり、また昭和45年にNHK大河ドラマ「樅ノ木は残った」の舞台になった船岡城址公園があります。しかし、春のお花見や秋の菊人形祭りの時期には県内の観光客で賑わいますが、開花期間が短いことや、観光客の絶対数も少ないことから、観光による経済波及効果は限定的なものとなっていました。

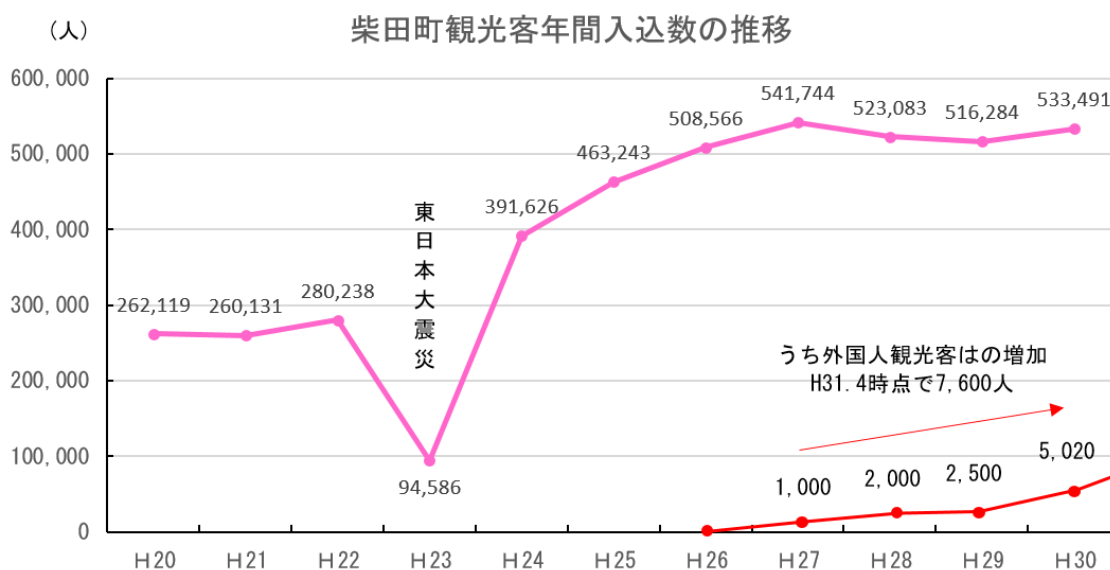
そうしたことから、平成23年3月の東日本大震災を契機に内陸部から創造的な復興を目指すため「花のまち柴田」をテーマに、美しく元気で賑わいのあるまちづくりに取り組んできた

ころです。

具体的には、柴田町のシンボルである先人たちから受け継いだ樹齢100年のソメイヨシノが咲き誇る桜まつりをメインに、梅、アジサイ、彼岸花による新たな景観づくりを行い、さらに、菊まつりやファンタジーイルミネーションと合わせて、通年型のフラワーツーリズムを推進してきました。さらに我が国の花文化を海外にアピールするために、国のインバウンド政策と相まってプロモーション活動展開や日本の伝統文化を体験できるコンテンツの充実を図ってきています。

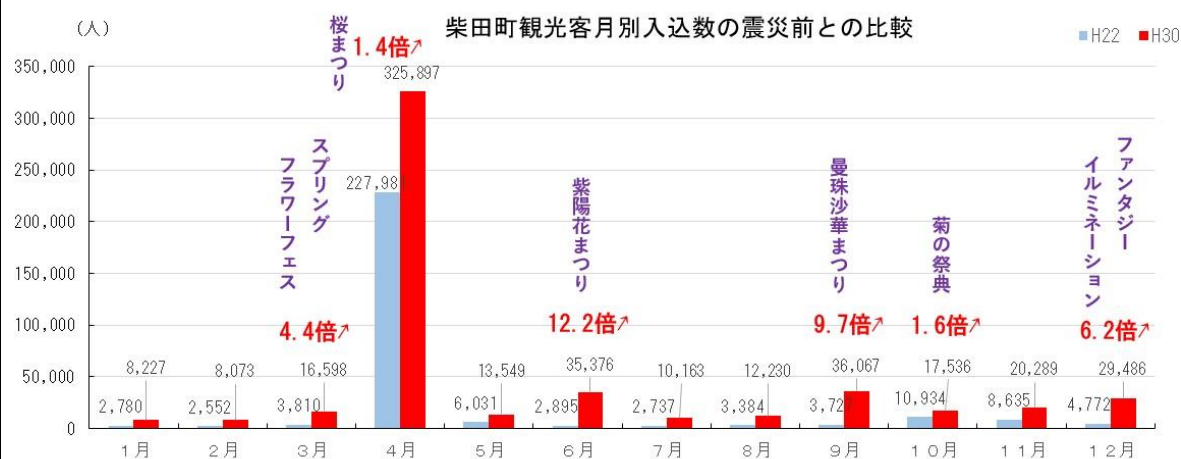


その結果、柴田町の観光客数は、取組前（震災前）の28万人から、約2倍となる54万人をこえるまでに数字を伸ばしており、県南地域の花修景を磨き上げることで国内外から人を呼び込む観光資源となることが確認できました。



また、東京オリンピック開催を見越した取り組みが全国的に進められ、県南地域においても、宮城インバウンドDMO推進協議会が主体となって、外国人向けのプロモーション事業の展開等により外国人旅行客が増加しました。柴田町においても、平成26年度はゼロだった外国人観光客数は、年々増加傾向にあり、平成31年4月時点で約7,600人にまで数字を伸ばしてきました。

こうした柴田町の取り組みから見てわかるように、自然の風景や季節の花見を楽しむ観光資源を磨き上げることで、観光客数の増加につながるということが立証されています。



※震災前イベントは、4月の桜まつり、10月の菊の祭典のみで、震災後にスプリングフラワーフェスティバル、紫陽花まつり、曼珠沙華まつり等を開催しており、新たなイベント開催シーズンは、4～12倍の増加となっています。なお、外国人観光客数については、桜まつりでのみ計測していることから桜まつり時の数値となります。

#### 4. 県南地域が目指す将来像

##### (1) 県南地域に点在するフラワーガーデンと観光資源

県南地域の代表的な観光資源・施設としては、刈田岳山頂・一目千本桜・船岡城址公園の自然景観、国営みちのく杜の湖畔公園、スポーツランドSUGO等のレクリエーション施設、遠刈田温泉・青根温泉・鎌先温泉・わたり温泉鳥の海・宿泊施設、白石城・齋理屋敷等の歴史施設等があげられ、最近では、道の駅が相次いで開設される等、多様な観光資源が存在しており、観る、レクリエーション、リゾートの多様な観光が可能となっており、周遊型観光を展開するうえで、非常にポテンシャルが高い地域となっています。



蔵王連峰を眺める 遠刈田温泉



伊達藩ゆかりの湯 青根温泉



太平洋を一望 わたり温泉

この地域には、水芭蕉、桜、水仙、菜の花、紫陽花、ひまわり、彼岸花といった多種にわたる花修景が点在し、大規模な花修景（フラワーガーデン）を形成していることに加え、地ビールやハム、ソーセージ、チーズ、イチゴ、はらこめしなどの食グルメ、温泉、道の駅といった観光資源も点在しています。



牧場直営のヨーグルト(蔵王町)



蔵王チーズ(蔵王バラ園)



仙南クラフトビール(角田市)



はらこめし(亶理町・山元町)



ほっきめし(亶理町・山元町)



白石温麺(白石市)

さらに、東北地方唯一の国営公園である「みちのく杜の湖畔公園」では、東北の暮らしの知恵や文化を体験できる参加型イベントを通年開催しているほか、各地域で花摘み講習会、フラワーアレンジ体験、その場で食べられるいちご狩り、チーズやバター、ソーセージ、アイスクリームづくり体験など、みやぎ蔵王の恵みを体験できるイベント等が多数開催されています。



ブクナッツアレンジメント体験



自然素材組立体験



オープンガーデンと花摘体験



いちご狩り

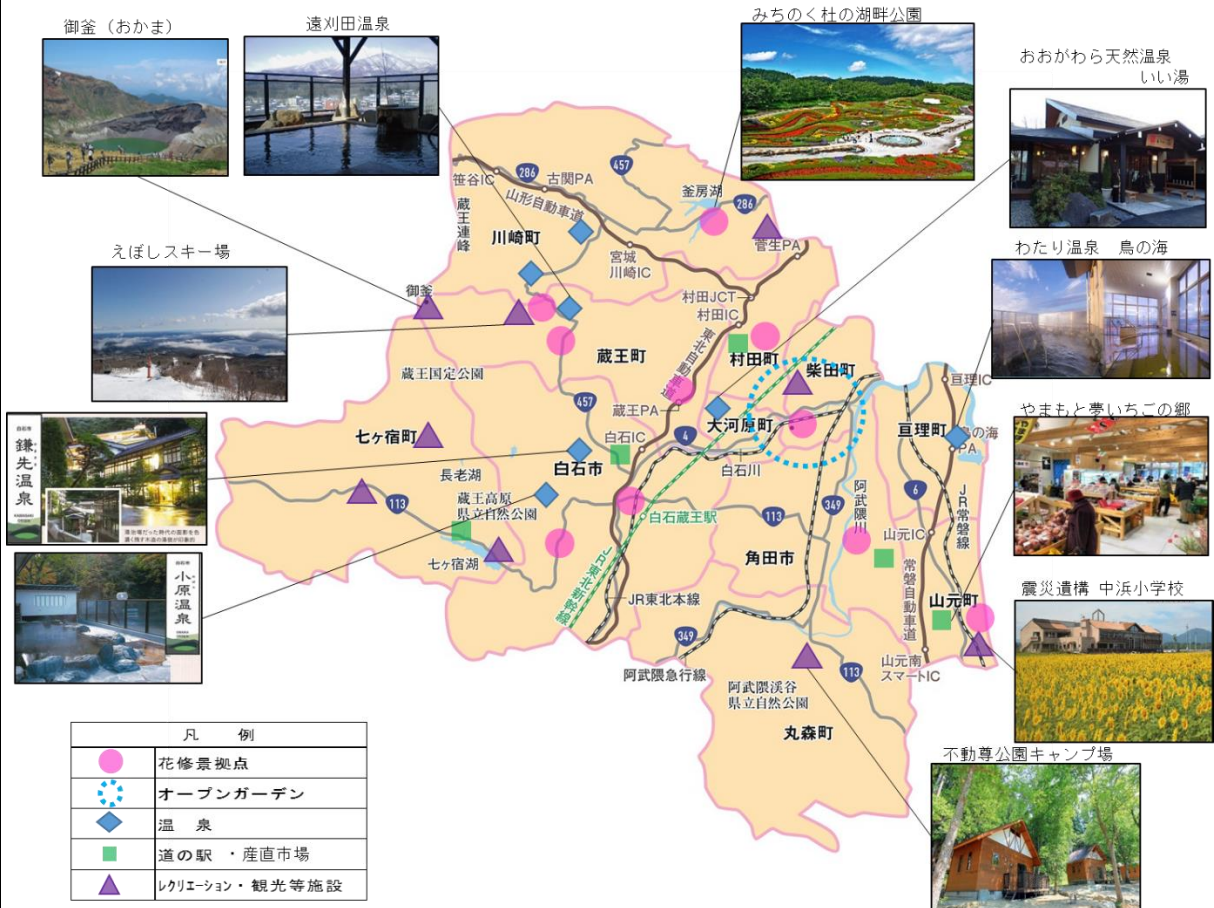


アイスクリームづくり体験



ソーセージづくり体験

しかし、これら多くの観光資源は県南地域の各地に分散しており、一自治体での誘客効果は限定的であることから、広域的な連携を図ることで、その魅力を、アピールしていくことが重要となってきました。





## (2) 県南地域における交通環境

一方で、県南地域は、東北新幹線及び高速自動車道路（東北自動車道、常磐自動車道、山形自動車道）を有しており、民営化及びLCCの拠点化した仙台空港からも近くアクセス性に非常に恵まれています。さらに、「広域観光周遊ルート日本奥の院東北探訪ルート」の認定等により、県南地域を取り巻く観光環境が大幅に改善してきています。



東京、大阪、北海道などの国内主要都市からは仙台空港及び空港と直結する仙台空港アクセス線を利用することで、約2時間の所要時間で当地域へ来ることが可能となっております。

また、近隣の仙台市や、山形県・福島県からは、東北新幹線、JR東北本線の鉄道利用で約35分程度、車の利用でも約30分程度で当地域へアクセスすることが可能となっております。



さらに、当地域は、蔵王山頂周辺から太平洋沿岸部まで約50kmの圏内に、庭園、天然温泉、地元の食グルメ、レクリエーション・リゾート施設など観光資源が点在しており、道路網の整備により、これら各施設間は30～60分程度での車移動が可能な地域となっています。



### (3) 広域連携によるマイクロツーリズムの実現、

#### そして周遊・滞在型のツーリズムへ

県南地域に点在したフラワーガーデンと観光資源が、多種多様に連携する重要性は高まっていることから、県南地域における官民の庭園管理者及び観光関係者が「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」を通じて、ガーデンツーリズムに取り組みます。

その具体的な戦略として、「国営みちのく杜の湖畔公園」と「船岡城址公園」を起点に、みやぎ蔵王山麓に点在する桜並木、花畑、コミュニティガーデン、民間庭園や公園等、春から秋にかけて様々な姿を見せるフラワーガーデンを季節ごとの身近な範囲でのコース設定を行い、コロナ禍に対応した宮城県南地域型のマイクロツーリズムを推進していきます。さらに、その発展形として、多様な広域周遊ルートの設定を図り、コンパクトなエリアでのオープンガーデンコースの設定により、雄大なロケーションの花畑から家庭の庭先の花畑までをリンケージした中で、ハーモニー豊かなモデル花回廊を設定し、広域的な観光基盤の強化を図ります。

また、園芸講習会や花摘み、寄せ植等の体験イベントの開催や立ち寄り先として温泉や高原リゾート施設との連携を図ることで、県南地域の魅力が詰まったガーデンツーリズムを推進します。

このように、県南地域という広域で連携し、ガーデンツーリズムの取り組みを推進することで、東日本大震災、台風19号災害、コロナ禍等の中にあっても人々に癒しと安らぎ、そして地域の絆を育むきっかけとなった花々と、蔵王の恵みが詰まった観光資源を結びつけ、地域ごとのフラワーガーデンを軸とした、身近に体験できるガーデンツーリズムを構築し、地域内にある花園・庭園等の認知度や交流人口・関係人口の増加を図り、広域圏での地域の活性化を目指します。さらに、官民両者でのガーデンツーリズムへの取り組みの熟度を上げていながら周遊・滞在型のガーデンツーリズムを目指します。

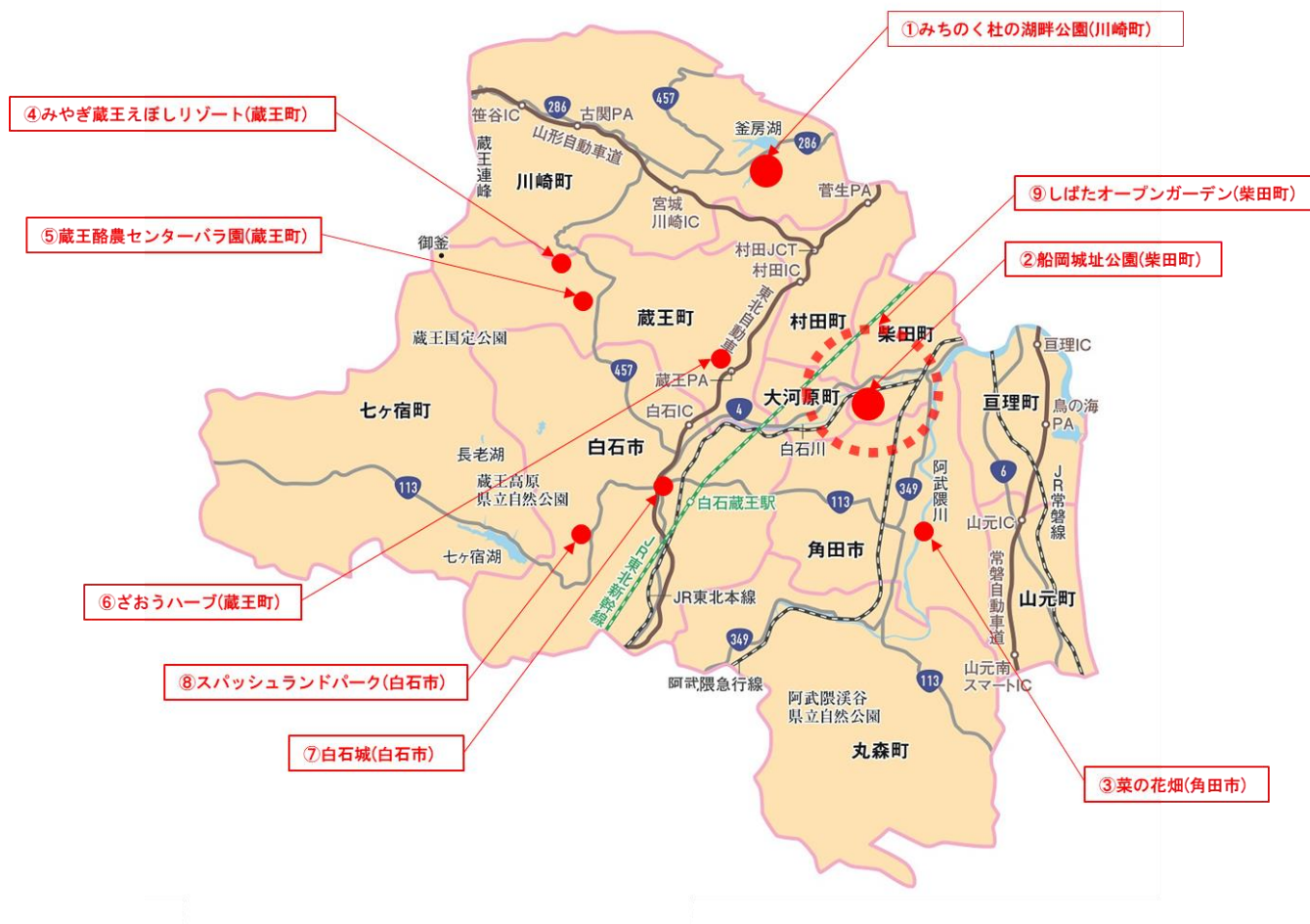
取組全体の範囲がわかる位置図（地図等）



宮城県南エリア区域図



## 構成庭園の位置図（地図等）



### 構成庭園所在地一覧

番号	庭園名	所在地	備考
1	みちのく杜の湖畔公園	宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松 53-9	
2	船岡城址公園	宮城県柴田郡柴田町大字船岡字館山 18-8	
3	菜の花畑	宮城県角田市藤田字中谷地地内	
4	みやぎ蔵王えぼしリゾート	宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字倉石岳国有地林内	
5	蔵王酪農センター バラ園	宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字七日原 251-4	
6	ざおうハーブ	宮城県刈田郡蔵王町大字矢附字林前 88-1	
7	白石城	宮城県白石市益岡町 1-16	
8	スパッシュランドパーク	宮城県白石市小原字西川久保地内	
9	しばたオープンガーデン	宮城県柴田郡柴田町内	